

# 35歳以上の未婚率上昇続く

～ 平成22年国勢調査結果（その3） 人口等基本集計結果 ～

平成22年国勢調査（10月1日実施）の人口等基本集計結果が総務省統計局から平成23年10月26日に公表されました。人口等基本集計では、人口総数、男女・年齢・配偶関係、世帯の構成、住居の状態などについて集計されていますので、福岡市の概要について紹介します。

加率となりました。一方、早良区と南区は増加率1%未満の微増となり、城南区は僅かに減少しました。また、性比は東区の94.8が最も高く、中央区の80.0が最も低くなっています。（表1）

## 1. 年齢別人口

### 福岡市の人口146万3,743人、増加率4.5%

平成22年10月1日現在の福岡市の人口は146万3,743人で、前回調査（平成17年10月1日実施）から6万2,464人増加し、増加率は4.5%となりました。

男女別人口を見ると、女性100人に対する男性の人口割合を示す「性比」は89.8となり、初めて90を下回りました。

行政区別に見ると、人口が最も多いのは東区の29万2,199人で、次いで南区、博多区、早良区の順になっています。対前回増加率が最も高いのは博多区の8.6%で、以下西区、中央区、東区が続きこの4区は6%以上の増

## 2. 年齢別人口

### 65歳以上人口の伸び続く

年齢3区分別に人口を見ると、15歳未満の年少人口が19万1,824人（構成比13.3%）、15～64歳の生産年齢人口が99万7,884人（同69.1%）、65歳以上の老年人口が25万4,085人（同17.6%）となりました。前回調査と比べると、構成比は、年少人口が0.3ポイント低下、生産年齢人口が1.9ポイント低下したのに対し、老年人口は2.2ポイント上昇しました。また、人口増減率は、年少人口や生産年齢人口の伸びに対して老年人口の伸びが大きくなりました。

この結果、人口の高齢化の度合いを示す老年化指数（年少人口に対する老年人口割合）は132.5となり、国や県と比べると低い値と

表1 国勢調査男女別人口

	世帯数		人口				対前回人口増減		
	一般世帯数	世帯数	総数	(構成比)	男	女	性比	実数	率
	世帯	世帯	人	%	人	人		人	%
昭和60年	433 348	431 905	1 160 440		568 166	592 274	95.9	71 852	6.6
平成2年	490 915	483 712	1 237 062		603 548	633 514	95.3	76 622	6.6
7年	544 176	539 488	1 284 836		624 649	660 187	94.6	47 774	3.9
12年	599 989	594 861	1 341 470		647 816	693 654	93.4	56 634	4.4
17年	649 138	632 653	1 401 279		673 097	728 182	92.4	59 809	4.5
平成22年	<b>707 358</b>	<b>706 428</b>	<b>1 463 743</b>	<b>100.0</b>	<b>692 648</b>	<b>771 095</b>	<b>89.8</b>	<b>62 464</b>	<b>4.5</b>
東区	133 165	133 024	292 199	20.0	142 190	150 009	94.8	17 718	6.5
博多区	124 266	124 070	212 527	14.5	101 725	110 802	91.8	16 816	8.6
中央区	106 966	106 825	178 429	12.2	79 305	99 124	80.0	11 329	6.8
南区	112 423	112 306	247 096	16.9	115 544	131 552	87.8	729	0.3
城南区	62 266	62 189	128 659	8.8	61 438	67 221	91.4	△ 4	△ 0.0
早良区	90 254	90 134	211 553	14.5	99 976	111 577	89.6	1 983	0.9
西区	78 018	77 880	193 280	13.2	92 470	100 810	91.7	13 893	7.7
[参考]国	51 950 504	51 842 307	128 057 352		62 327 737	65 729 615	94.8	289 358	0.2
県	2 110 468	2 106 654	5 071 968		2 393 965	2 678 003	89.4	22 060	0.4

表2 年齢3区分別人口の推移

	人口総数 人	15歳未満 (年少人口) 人	15~64歳 (生産年齢人口) 人	65歳以上 (老年人口) 人	うち75歳以上		年齢別割合			老年化 指 数
					うち75歳以上 人	うち85歳以上 人	15歳未満 %	15~64歳 %	65歳以上 %	
昭和60年	1 160 440	252 373	816 422	90 726	34 016	5 945	21.8	70.4	7.8	35.9
平成2年	1 237 062	231 390	885 821	112 654	44 684	8 873	18.8	72.0	9.2	48.7
7年	1 284 836	205 266	933 196	141 943	54 386	12 744	16.0	72.9	11.1	69.2
12年	1 341 470	191 092	967 799	177 771	71 257	17 894	14.3	72.4	13.3	93.0
17年	1 401 279	187 960	983 585	213 380	93 453	23 524	13.6	71.0	15.4	113.5
平成22年	1 463 743	191 824	997 884	254 085	118 304	31 254	13.3	69.1	17.6	132.5
東区	292 199	41 272	197 419	50 090	23 189	6 212	14.3	68.4	17.3	121.4
博多区	212 527	21 276	148 740	34 371	15 924	4 223	10.4	72.8	16.8	161.5
中央区	178 429	17 562	127 849	27 724	12 696	3 064	10.1	73.8	16.0	157.9
南区	247 096	33 528	167 308	45 186	21 270	5 492	13.6	68.0	18.4	134.8
城南区	128 659	16 495	88 231	22 940	10 588	2 703	12.9	69.1	18.0	139.1
早良区	211 553	31 510	142 113	37 234	17 181	4 515	14.9	67.4	17.7	118.2
西区	193 280	30 181	126 224	36 540	17 456	5 045	15.6	65.4	18.9	121.1
[参考]国	128 057 352	16 803 444	81 031 800	29 245 685	14 072 210	3 794 933	13.2	63.8	23.0	174.0
県	5 071 968	684 124	3 227 932	1 123 376	552 905	153 727	13.6	64.1	22.3	164.2

注)人口総数には年齢不詳を含む。年齢別割合は年齢不詳を除いて算出。

なっていますが、福岡市でも少子高齢化が進行していることが分かります。

図1 年齢3区分別人口の推移

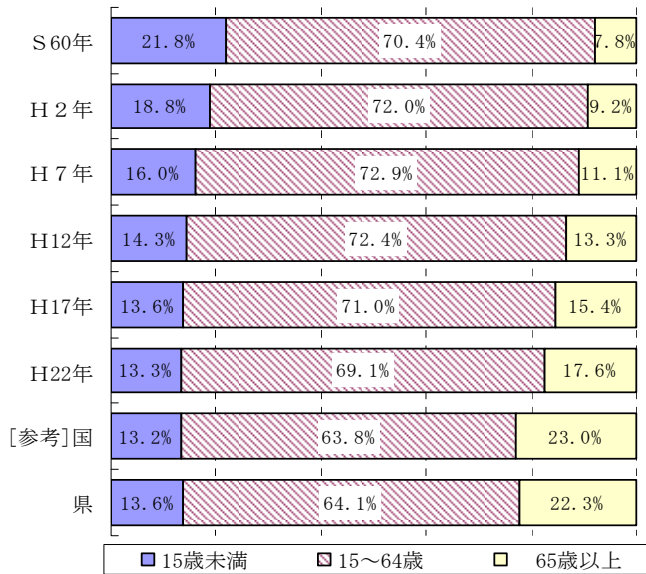


表3 行政区別年齢別性比

	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
15歳未満	104.59	104.15	105.86	102.49	104.69	104.91	104.42	105.41
15~19歳	103.99	111.43	99.45	90.92	103.17	107.33	97.62	114.15
20~24歳	97.65	115.34	87.45	73.78	87.23	118.64	88.65	121.18
25~29歳	86.31	91.85	86.77	69.37	86.28	93.62	90.36	93.15
30~34歳	89.82	97.19	91.60	71.42	91.03	94.12	95.67	89.78
35~39歳	92.62	99.44	97.02	75.41	92.56	96.31	93.68	93.36
40~44歳	92.58	97.17	99.45	83.18	91.97	89.28	90.67	93.90
45~49歳	93.41	97.13	106.07	87.50	90.74	90.00	89.53	92.25
50~54歳	94.23	93.72	110.57	92.65	90.96	88.25	92.16	91.49
55~59歳	93.57	95.87	102.63	91.71	91.62	85.87	92.52	91.95
60~64歳	90.78	94.75	96.21	84.49	88.94	87.08	91.37	89.32
65歳以上	67.57	70.97	63.63	62.01	66.37	68.83	69.52	69.92

行政区別に見ると、年少人口の割合は西区が15.6%と最も高く、以下、早良区、東区が続いています。生産年齢人口の割合は中央区の73.8%が最も高く、次いで博多区、城南区となっており、老年人口は西区の18.9%が最も高く、以下南区、城南区となっています。前回調査と比べると、年少人口は博多区と南区以外の区で増加し、生産年齢人口は南区、城南区及び早良区以外の区で増加し、老年人口は全ての区で増加しました。各区の老年化指数は、博多区の161.5が最も高く、早良区の118.2が最も低くなっています。

(表2, 図1)

各区の年齢別性比を見ると、年少人口については全ての区で男性が多く、老年人口については全ての区で女性が多くなっています。東区、城南区、西区では15~19歳及び20~24歳において男性が多く、博多区は45~59歳において男性が多くなっていますが、その他の年齢階層は全ての区で女性が多くなっています。(表3)

### 3. 配偶関係

#### 35歳以上未婚率の上昇が続く

15歳以上の配偶関係を見ると、未婚者は41万5,254人(構成比33.2%)、有配偶者は63万2,367人(同50.5%)、死別は8万597人(同

表 4 配偶関係の推移

	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
15歳以上総数	907 148	100.0	998 475	100.0	1 075 139	100.0	1 145 570	100.0	1 196 965	100.0	1 251 969	100.0
未婚	280 292	30.9	330 514	33.1	373 853	34.8	406 117	35.5	414 752	34.7	415 254	33.2
有配偶	533 210	58.8	554 911	55.6	572 222	53.2	590 623	51.6	608 562	50.8	632 367	50.5
死別	57 701	6.4	60 967	6.1	66 747	6.2	69 724	6.1	75 577	6.3	80 597	6.4
離別	31 757	3.5	37 923	3.8	44 667	4.2	53 415	4.7	63 558	5.3	75 875	6.1
男 15歳以上	438 630	100.0	480 748	100.0	517 056	100.0	547 015	100.0	566 649	100.0	583 363	100.0
未婚	153 352	35.0	176 818	36.8	197 217	38.1	210 206	38.4	211 235	37.3	204 223	35.0
有配偶	266 199	60.7	277 204	57.7	286 492	55.4	295 970	54.1	304 306	53.7	316 634	54.3
死別	7 545	1.7	8 146	1.7	9 027	1.7	9 815	1.8	11 064	2.0	12 748	2.2
離別	9 345	2.1	11 384	2.4	14 009	2.7	17 173	3.1	20 470	3.6	26 238	4.5
女 15歳以上	468 518	100.0	517 727	100.0	558 083	100.0	598 555	100.0	630 316	100.0	668 606	100.0
未婚	126 940	27.1	153 696	29.7	176 636	31.7	195 911	32.7	203 517	32.3	211 031	31.6
有配偶	267 011	57.0	277 707	53.6	285 730	51.2	294 653	49.2	304 256	48.3	315 733	47.2
死別	50 156	10.7	52 821	10.2	57 720	10.3	59 909	10.0	64 513	10.2	67 849	10.1
離別	22 412	4.8	26 539	5.1	30 658	5.5	36 242	6.1	43 088	6.8	49 637	7.4

注)15歳以上総数には配偶関係不詳を含む。

6.4%)、離別は7万5,875人(同6.1%)となりました。構成比の推移を見ると、有配偶は減少傾向にあり、離別は増加傾向となっています。(表4)

性別年齢別の未婚率(15歳以上総数に占める未婚者の割合)の推移を見ると、35歳未満の未婚率は前回調査より低下したものの、35歳以上の未婚率は引き続き上昇しました。35~39歳の男性の未婚率が30%を超え、40歳以上では男女ともに未婚率が10%を超えました。(表5、図2)

#### 4. 世帯

世帯の増加率が人口増加率の約2倍

表5 15歳以上性別年齢別未婚率の推移

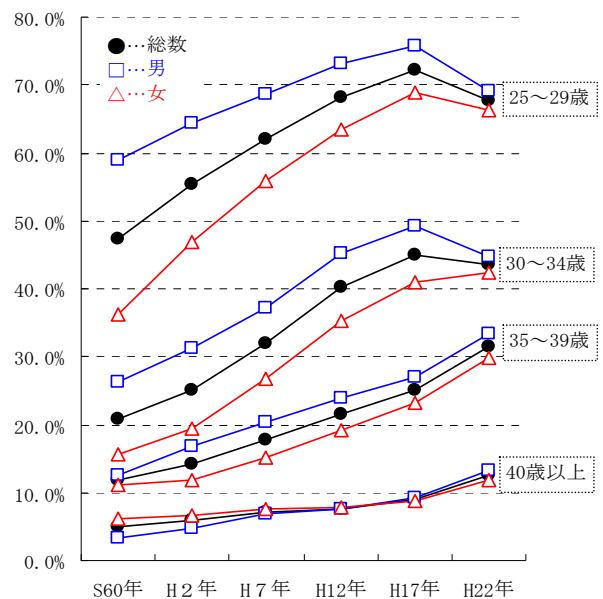
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	(参考)	
	%	%	%	%	%	%	国	県
総数	30.9	33.1	34.8	35.5	34.7	33.2	27.0	28.0
24歳未満	93.4	93.8	94.6	96.0	96.4	93.0	94.2	93.7
25~29歳	47.4	55.3	62.1	68.2	72.1	67.6	64.1	64.1
30~34歳	20.8	25.2	31.9	40.1	45.0	43.5	40.0	40.5
35~39歳	11.8	14.3	17.8	21.5	25.0	31.6	28.8	28.9
40歳以上	4.9	5.8	7.2	7.6	8.9	12.6	9.9	10.1
男	35.0	36.8	38.1	38.4	37.3	35.0	31.3	31.2
24歳未満	95.8	95.2	95.7	96.9	97.3	93.2	95.1	94.4
25~29歳	58.9	64.3	68.7	73.2	75.7	69.1	69.2	67.4
30~34歳	26.2	31.2	37.2	45.2	49.2	44.8	46.0	44.0
35~39歳	12.5	16.7	20.5	23.8	27.0	33.5	34.8	32.8
40歳以上	3.4	4.8	6.8	7.5	9.1	13.3	12.8	11.9
女	27.1	29.7	31.7	32.7	32.3	31.6	22.9	25.2
24歳未満	90.6	92.2	93.3	95.0	95.5	92.8	93.2	93.0
25~29歳	36.3	46.8	56.0	63.4	68.8	66.3	58.9	61.1
30~34歳	15.5	19.4	26.8	35.4	41.0	42.3	33.9	37.2
35~39歳	11.1	11.9	15.2	19.3	23.2	29.8	22.7	25.1
40歳以上	6.2	6.6	7.5	7.7	8.8	11.9	7.2	8.7

福岡市の総世帯数は70万7,358世帯で、前回調査より5万8,220世帯増加し、増加率は9.0%となって人口増加率(4.5%)の約2倍となりました。(表1)

このうち、寮・寄宿舎・病院等の「施設等の世帯」を除いた一般世帯数は、70万6,428世帯(対前回増加率11.7%)で、一般世帯人員は143万4,582人(同5.6%)です。1世帯当たり人員は2.03人となり、前回調査と比べて0.12人減少し世帯規模の縮小化傾向は続いています。

昭和60年調査からの推移を見ると、世帯人員3人以下の一般世帯数は増加傾向にあり、世帯人員4人以上の一般世帯数は減少傾向にあり

図2 性別年齢別未婚率の推移



ます。

行政区別に見ると、1人世帯の割合は、博多区と中央区が6割を超え、3人以下の世帯の割合は、西区(77.6%)が最も低く、その他の区は8割以上となりました。1世帯当たり人員は、西区の2.42人が最も大きく、中央区の1.66人が最も小さくなりました。(表6)

### 「夫婦と子供」の世帯は低下傾向

一般世帯の家族類型を見ると、親族のみの世帯が36万505世帯(一般世帯数に占める割合51.0%)、非親族を含む世帯が8,719世帯(同

1.2%)、単独世帯が33万7,103世帯(同47.7%)となりました。

親族のみの世帯のうち、夫婦のみの世帯が10万6,857世帯(同15.1%)、夫婦と子供の世帯が16万3,889世帯(同23.2%)、ひとり親と子供(男親と子供の世帯と女親と子供の世帯の合計)の世帯が5万7,078世帯(同8.1%)、核家族以外の世帯が3万2,681世帯(同4.6%)でした。

単独世帯の構成比は上昇傾向にあり、夫婦と子供の世帯と核家族以外の世帯の構成比は低下傾向にあります。

表6 世帯人員別一般世帯数、一般世帯人員及び1世帯当たり人員

	一般世帯 総数	世帯人員別一般世帯数							一般世帯 人員	1世帯当 り人員
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上		
昭和60年	431 905	143 316	77 906	70 663	90 904	35 312	9 589	4 215	1 139 948	2.64
平成2年	483 712	177 677	92 025	76 336	90 793	33 652	9 383	3 846	1 206 604	2.49
7年	539 488	218 732	109 896	83 709	84 457	30 876	8 409	3 409	1 257 097	2.33
12年	594 861	256 207	128 718	91 385	81 184	27 569	7 052	2 746	1 312 749	2.21
17年	632 653	277 548	143 554	97 768	80 354	25 030	6 140	2 259	1 357 904	2.15
平成22年	706 428	337 103	157 960	103 004	78 749	22 595	5 168	1 849	1 434 582	2.03
(構成比)	100.0%	47.7%	22.4%	14.6%	11.1%	3.2%	0.7%	0.3%		
東区	133 024	56 811	31 270	21 447	16 929	5 051	1 138	378	286 251	2.15
博多区	124 070	79 610	20 919	12 102	8 396	2 334	522	187	207 514	1.67
中央区	106 825	67 499	19 936	10 476	6 942	1 584	296	92	176 938	1.66
南区	112 306	46 220	28 115	18 500	14 214	4 128	853	276	242 576	2.16
城南区	62 189	29 678	13 808	9 103	7 012	2 036	447	105	126 281	2.03
早良区	90 134	32 128	23 301	16 699	13 085	3 708	877	336	207 449	2.30
西区	77 880	25 157	20 611	14 677	12 171	3 754	1 035	475	187 573	2.41
[参考]国	51 842 307	16 784 507	14 125 840	9 421 831	7 460 339	2 571 743	984 751	493 296	125 545 603	2.42
(構成比)	100.0%	32.4%	27.2%	18.2%	14.4%	5.0%	1.9%	1.0%		
県	2 106 654	736 339	563 201	370 069	287 110	100 365	33 277	16 293	4 943 035	2.35
(構成比)	100.0%	35.0%	26.7%	17.6%	13.6%	4.8%	1.6%	0.8%		

表7 一般世帯の家族類型の推移

	一般世帯 総数	親族のみの世帯							核家族以 外の世帯	非親族を 含む世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯				核家族以 外の世帯				
			総数	夫婦のみ	夫婦と子供	男親と子供		女親と子供			
昭和60年	431 905	287 622	245 304	54 186	160 838	3 663	26 617	42 318	967	143 316	
平成2年	483 712	304 644	264 123	63 402	164 700	4 361	31 660	40 521	1 391	177 677	
7年	539 488	318 508	278 743	75 835	162 200	4 958	35 750	39 765	2 248	218 732	
12年	594 861	334 853	296 652	87 946	161 549	5 729	41 428	38 201	3 801	256 207	
17年	632 653	349 539	311 750	96 887	162 177	6 345	46 341	37 789	5 566	277 548	
平成22年	706 428	360 505	327 824	106 857	163 889	6 283	50 795	32 681	8 719	337 103	
(構成比)	100.0%	51.0%	46.4%	15.1%	23.2%	0.9%	7.2%	4.6%	1.2%	47.7%	
東区	133 024	74 509	67 918	21 628	34 891	1 333	10 066	6 591	1 640	56 811	
博多区	124 070	42 878	38 700	13 228	18 053	830	6 589	4 178	1 568	79 610	
中央区	106 825	37 840	34 709	13 062	15 527	556	5 564	3 131	1 476	67 499	
南区	112 306	64 459	58 836	18 996	29 545	1 101	9 194	5 623	1 621	46 220	
城南区	62 189	31 915	29 118	9 294	14 638	570	4 616	2 797	596	29 678	
早良区	90 134	57 036	52 045	15 965	26 960	1 050	8 070	4 991	965	32 128	
西区	77 880	51 868	46 498	14 684	24 275	843	6 696	5 370	853	25 157	
[参考]国	51 842 307	34 515 547	29 206 899	10 244 230	14 439 724	664 416	3 858 529	5 308 648	456 455	16 784 507	
(構成比)	100.0%	66.6%	56.3%	19.8%	27.9%	1.3%	7.4%	10.2%	0.9%	32.4%	
県	2 106 654	1 347 398	1 163 436	394 489	567 730	25 105	176 112	183 962	19 646	736 339	
(構成比)	100.0%	64.0%	55.2%	18.7%	26.9%	1.2%	8.4%	8.7%	0.9%	35.0%	

注)一般世帯総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

平成17年以前の「親族世帯」は「親族のみの世帯」に、「非親族世帯」は「非親族を含む世帯」に、「親族世帯」のうちの「その他の親族世帯」は「親族のみの世帯」のうちの「核家族以外の世帯」に変更されている。

行政区別の一般世帯数に対する構成比は、核家族世帯の構成比が最も高いのは西区の59.7%で、以下早良区、南区となり、最も低いのは博多区の31.2%で、次いで中央区、城南区となりました。一方、単独世帯の構成比は、博多区の64.2%が最も高く、西区の32.3%が最も低くなっています。(表7)

65歳以上世帯員がいる一般世帯数は17万3,640世帯で、前回調査より18.3%増加しました。そのうち高齢夫婦世帯は4万5,662世帯(65歳以上世帯員がいる一般世帯数に占める割合26.3%)となり、単独世帯は5万9,995世帯(同34.6%)となりました。65歳以上単独世帯の割合は国(24.8%)や県(28.4%)と比べて高い値になっています。(表8, 図3)

## 5. 住居の状態

### 民営の借家率が引き続き上昇

一般世帯の住宅の所有の関係を見ると、民営の借家が33万7,710世帯で構成比48.4%と最も多く、次いで持ち家が26万1,833世帯(同37.6%)、公営・都市再生機構・公社の借家が6万5,979世帯(同9.5%)、給与住宅が2万5,149世帯(同3.6%)、間借りが6,430世帯(同0.9%)となりました。民営の借家率は引き続き

上昇しています。

行政区別に見ると、博多区と中央区は持ち家の割合が3割を下回っており、民営の借家の割合が6割以上となっています。一方、西区は5割以上が持ち家で、民営の借家の割合は最も低く34.4%となっています。(表9, 図4)

### 共同住宅世帯が7割を超える

住宅の建て方別一般世帯数を見ると、共同住

図3 65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型の推移

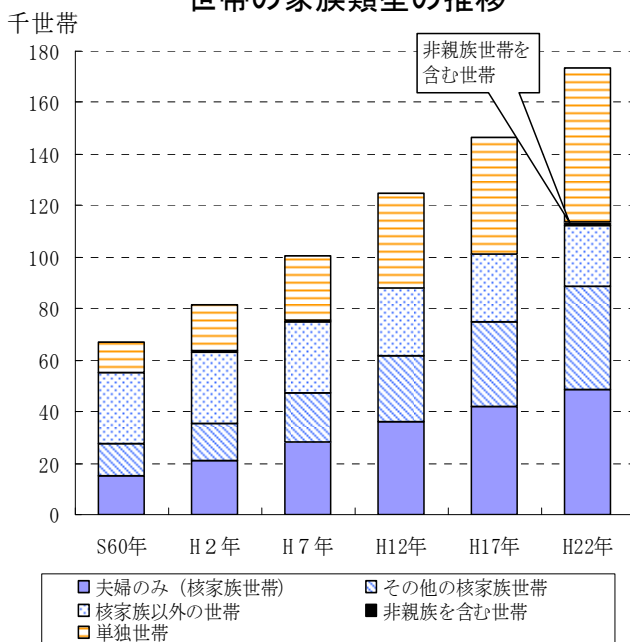


表8 65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型

	一般世帯 総数	65歳以上世帯員がいる一般世帯数							(再掲)	(再掲)
		総数	親族のみの世帯			非親族を 含む世帯	単独世帯	3世代 世帯	高齢夫婦 世帯	
			総数	核家族世帯 総数	核家族以 外の世帯 夫婦のみ					
昭和60年	431 905	67 249	54 903	27 546	15 368	27 357	124	12 222	...	12 787
平成2年	483 712	81 161	63 308	35 785	20 723	27 523	145	17 708	...	17 889
7年	539 488	100 710	75 186	47 553	27 951	27 633	167	25 357	...	24 786
12年	594 861	124 897	87 940	61 548	35 827	26 392	262	36 695	19 050	32 356
17年	632 653	146 734	100 846	74 798	42 054	26 048	427	45 461	18 125	38 881
平成22年	706 428	173 640	112 178	88 978	48 814	23 200	1 467	59 995	15 359	45 662
(構成比)		100.0%	64.6%	51.2%	28.1%	13.4%	0.8%	34.6%	8.8%	26.3%
東区	133 024	33 669	22 740	17 947	10 005	4 793	276	10 653	3 247	9 385
博多区	124 070	24 643	12 914	10 260	5 237	2 654	217	11 512	1 620	4 766
中央区	106 825	20 643	10 984	9 186	5 179	1 798	186	9 473	1 021	4 768
南区	112 306	30 744	20 583	16 549	9 126	4 034	269	9 892	2 642	8 607
城南区	62 189	15 899	10 508	8 531	4 702	1 977	116	5 275	1 316	4 438
早良区	90 134	25 238	17 583	13 867	7 608	3 716	188	7 467	2 477	7 139
西区	77 880	22 804	16 866	12 638	6 957	4 228	215	5 723	3 036	6 559
[参考]国	51 842 307 19	337 687 14	442 764 10	011 350 5	525 270 4	431 414	104 155	4 790 768	3 174 887	5 250 952
(構成比)		100.0%	74.7%	51.8%	28.6%	22.9%	0.5%	24.8%	16.4%	27.2%
県	2 106 654	742 228	527 311	380 077	211 507	147 234	4 464	210 453	103 532	200 212
(構成比)		100.0%	71.0%	51.2%	28.5%	19.8%	0.6%	28.4%	13.9%	27.0%

注)「65歳以上世帯員がいる一般世帯数」の平成17年以前は「65歳以上親族のいる一般世帯数」を掲載している  
高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯



宅の構成比が 75.5%と最も多く、一戸建てが 23.3%，長屋建ては 0.9%となっています。構成比は、一戸建て及び長屋建ては減少傾向にあり、6階建て以上の共同住宅は増加傾向にあります。

行政区別に見ると、共同住宅は全ての区で6割以上となっており、中央区の 90.8%が最も高く、西区の 63.5%が最も低くなりました。一戸建ては西区の 35.2%が最も高く、中央区の 8.5%が最も低い割合となりました。(表 10)

### 6階建以上共同住宅の持ち家率3割超える

住宅の建て方と所有の関係を見ると、一戸建

図 4 住宅の所有関係別一般世帯数

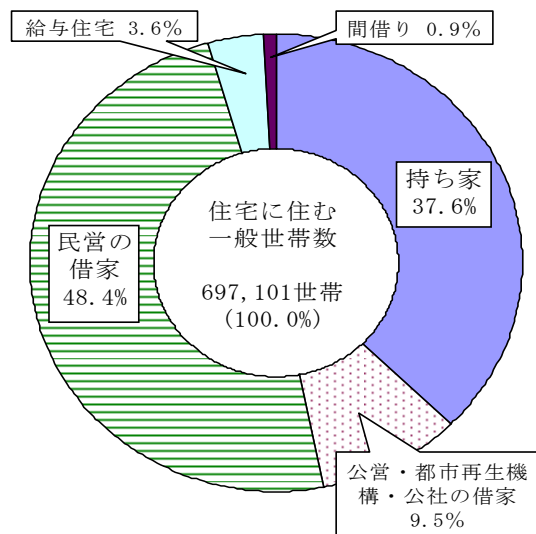


表 9 住宅の所有関係別一般世帯数

	一般世帯総数	住宅に住む一般世帯数	主世帯					間借り
			持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民間の借家	給与住宅	間借り	
昭和60年	431 905	412 519	405 355	154 242	56 434	164 085	30 594	7 164
平成2年	483 712	466 884	461 676	171 409	59 432	200 947	29 888	5 208
7年	539 488	522 996	518 551	190 221	62 237	232 730	33 363	4 445
12年	594 861	578 748	571 968	215 796	66 110	258 690	31 372	6 780
17年	632 653	620 466	613 995	238 417	67 482	281 283	26 813	6 471
平成22年	706 428	697 101	690 671	261 833	65 979	337 710	25 149	6 430
(構成比)		100.0%	99.1%	37.6%	9.5%	48.4%	3.6%	0.9%
東区	133 024	131 020	129 720	55 165	14 490	55 575	4 490	1 300
博多区	124 070	121 725	120 580	28 781	11 423	75 352	5 024	1 145
中央区	106 825	105 469	104 657	30 162	6 784	63 357	4 354	812
南区	112 306	111 137	109 955	46 189	6 864	53 298	3 604	1 182
城南区	62 189	61 665	61 100	23 168	6 198	29 889	1 845	565
早良区	90 134	88 949	88 150	39 637	11 305	33 709	3 499	799
西区	77 880	77 136	76 509	38 731	8 915	26 530	2 333	627
[参考]国	51 842 307	51 054 879	50 477 548	31 594 379	3 069 946	14 371 457	1 441 766	577 331
(構成比)		100.0%	98.9%	61.9%	6.0%	28.1%	2.8%	1.1%
県	2 106 654	2 079 843	2 059 925	1 117 384	185 164	701 770	55 607	19 918
(構成比)		100.0%	99.0%	53.7%	8.9%	33.7%	2.7%	1.0%

表 10 住宅の建て方別一般世帯数

	住宅に住む一般世帯数	一戸建て	長屋建て	共同住宅					その他
				総数	1・2階建	3～5階建	6～10階建	11階建以上	
昭和60年	412 519	162 070	19 837	229 434	74 213	103 549	51 672		1 178
平成2年	466 884	161 181	15 670	289 019	68 611	135 762	84 646		1 014
7年	522 996	161 501	12 822	347 593	72 680	151 181	123 732		1 080
12年	578 748	166 948	9 731	400 253	70 081	156 265	118 692	55 215	1 816
17年	620 466	158 954	8 399	451 688	73 750	158 904	145 364	73 670	1 425
平成22年	697 101	162 404	6 612	526 401	78 933	164 470	174 360	108 637	1 500
(構成比)	100.0%	23.3%	0.9%	75.5%	11.3%	23.6%	25.0%	15.6%	0.2%
東区	131 020	36 354	1 360	92 992	18 267	30 752	27 182	16 791	286
博多区	121 725	13 839	1 162	106 362	12 235	17 951	39 102	37 074	325
中央区	105 469	9 011	444	95 722	5 389	19 477	39 293	31 563	267
南区	111 137	31 333	1 448	78 031	14 156	30 010	26 706	7 158	258
城南区	61 665	16 372	564	44 585	11 217	19 663	11 054	2 651	134
早良区	88 949	28 364	721	59 711	9 215	28 830	15 044	6 622	140
西区	77 136	27 131	913	48 998	8 454	17 787	15 979	6 778	90
[参考]国	51 054 879	28 424 992	1 301 873	21 224 628	5 974 933	8 153 716	4 230 355	2 865 584	100 063
(構成比)	100.0%	55.7%	2.5%	41.6%	11.7%	16.0%	8.3%	5.6%	0.2%
県	2 079 843	975 532	60 211	1 039 860	220 586	357 632	290 167	171 472	3 985
(構成比)	100.0%	46.9%	2.9%	50.0%	10.6%	17.2%	14.0%	8.2%	0.2%

注)平成7年以前の「建物全体の階数」では、「6階建て以上」の区分は1区分として表章されている。  
総数には住宅の建て方「不詳」を含む。

てでは持ち家率が 89.5%となっていますが、共同住宅は民営の借家が 60.6%となり、持ち家率は 21.7%にとどまっています。共同住宅の持ち家率を建物の階数別に見ると、1・2階建ては 1.6%ですが、建物が高層になるにつれて持ち家率が上がり、6階建て以上になると3割を超え、15階建て以上では、持ち家率 39.7%となっています。(表11)

## 6. 外国人

### 中国籍外国人人口の増加続く

外国人人口は1万7,325人となり、総人口に占める割合は 1.2%となりました。前回調査と

比べると 876人増加(増加率 5.3%)し、性比は 98.7となっています。年齢3区分別人口では、年少人口が 1,546人(構成比 9.5%)、生産年齢人口が 1万3,712人(同 84.4%)、老年人口が 989人(同 6.1%)となりました。

国籍別では中国が 7,376人(構成比 42.6%)で最も多くなっており、中国の増加が続いています。

行政区別に見ると、東区の 5,896人(総人口に対する割合 2.0%)が最も多く、城南区の 841人(同 0.7%)が最も少なくなっています。また、国籍別では、全ての区で「中国」が最も多くなっています。(表13)

表11 住宅の建て方・所有関係別一般世帯数

	住宅に住む一般世帯数	主世帯					間借り
		持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅		
総数	697 101	690 671	261 833	65 979	337 710	25 149	6 430
一戸建て	162 404	160 006	145 383	11	13 429	1 183	2 398
長屋建て	6 612	6 433	1 584	137	4 514	198	179
共同住宅	526 401	522 642	114 221	65 831	319 069	23 521	3 759
1・2階建	78 933	77 877	1 270	166	74 686	1 755	1 056
3～5階建	164 470	163 293	22 809	35 850	94 629	10 005	1 177
6～10階建	174 360	173 338	55 108	13 479	97 115	7 636	1 022
11～14階建	85 224	84 804	25 729	14 955	40 776	3 344	420
15階建以上	23 413	23 329	9 305	1 381	11 862	781	84
その他	1 500	1 407	548	-	630	229	93
構成比							
一戸建て	100.0%	98.5%	89.5%	0.0%	8.3%	0.7%	1.5%
長屋建て	100.0%	97.3%	24.0%	2.1%	68.3%	3.0%	2.7%
共同住宅	100.0%	99.3%	21.7%	12.5%	60.6%	4.5%	0.7%
1・2階建	100.0%	98.7%	1.6%	0.2%	94.6%	2.2%	1.3%
3～5階建	100.0%	99.3%	13.9%	21.8%	57.5%	6.1%	0.7%
6～10階建	100.0%	99.4%	31.6%	7.7%	55.7%	4.4%	0.6%
11～14階建	100.0%	99.5%	30.2%	17.5%	47.8%	3.9%	0.5%
15階建以上	100.0%	99.6%	39.7%	5.9%	50.7%	3.3%	0.4%

注) 総数には住宅の建て方「不詳」を含む

表12 国籍別外国人人口

	(別掲)人口総数	総数	中国	韓国, 朝鮮	フィリピン	アメリカ	イギリス	タイ	ペルー	ブラジル	その他
平成7年	1 284 836	10 576	2 950	5 634	274	434	112	63	52	86	971
12年	1 341 470	11 596	3 901	5 227	414	392	121	60	64	57	1 360
17年	1 401 279	16 449	5 415	4 861	531	385	150	76	51	63	4 917
平成22年(構成比)	1 463 743	17 325	7 376	4 749	575	488	157	110	53	50	3 767
		100.0%	42.6%	27.4%	3.3%	2.8%	0.9%	0.6%	0.3%	0.3%	21.7%
男	692 648	8 605	3 636	2 188	96	308	122	33	27	24	2 171
女	771 095	8 720	3 740	2 561	479	180	35	77	26	26	1 596
15歳未満(構成比)	191 824	1 546	570	440	46	73	14	11	4	6	382
		9.5%	7.8%	9.3%	8.0%	15.0%	8.9%	10.0%	7.5%	12.0%	14.0%
15～64歳(構成比)	997 884	13 712	6 643	3 544	526	375	137	97	48	43	2 299
		84.4%	90.4%	74.8%	91.5%	76.8%	87.3%	88.2%	90.6%	86.0%	84.3%
65歳以上(構成比)	254 085	989	133	756	3	40	6	2	1	1	47
		6.1%	1.8%	15.9%	0.5%	8.2%	3.8%	1.8%	1.9%	2.0%	1.7%
東区	292 199	5 896	2 377	1 708	110	55	24	22	37	16	1 547
博多区	212 527	2 968	1 491	981	149	44	17	24	6	2	254
中央区	178 429	2 159	871	505	88	108	37	21	1	9	519
南区	247 096	2 610	1 234	507	92	67	23	10	4	9	664
城南区	128 659	841	307	249	33	37	7	6	-	2	200
早良区	211 553	1 464	495	484	54	125	29	16	5	9	247
西区	193 280	1 387	601	315	49	52	20	11	-	3	336

注) その他には無国籍及び国名不詳を含む。また、総数には年齢不詳を含む。年齢3区分別構成比は年齢不詳を除いて算出。

\* \* \* \* \*

平成22年国勢調査の結果は総務省統計局のホームページで公表しています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>

総務省による今後の公表予定は次のとおりです。(年・月は公表予定時期)

● 基本集計

\* 産業等基本集計・・・平成24年 4月

\* 職業等基本集計・・・平成24年11月

● 抽出詳細集計・・・平成25年10月

● 従業地・通学地集計

\* 人口・産業等集計・・・平成24年 6月

\* 職業等集計・・・平成25年 3月

\* 抽出詳細集計・・・平成25年10月

● 人口移動集計

\* 男女・年齢等集計・・・平成24年 1月

\* 産業等集計・・・平成24年 7月

\* 職業等集計・・・平成25年 4月

● 小地域集計・・・該当する基本集計等の公表後，速やかに公表

〈資料〉 年齢3区分別人口の大都市比較

	人口総数	15歳未満 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	年齢別割合			老年化 指数		
					うち75歳以上	うち85歳以上	15歳未満 15～64歳 65歳以上			
札幌市	1 913 545	224 212	1 292 313	391 796	185 471	48 310	11.7	67.5	20.5	174.7
仙台市	1 045 986	136 832	703 379	191 722	90 061	23 485	13.1	67.2	18.3	140.1
さいたま市	1 222 434	166 926	813 060	233 564	97 745	23 928	13.7	66.5	19.1	139.9
千葉市	961 749	123 972	606 496	198 850	77 716	17 989	12.9	63.1	20.7	160.4
特別区部	8 945 695	946 290	6 061 805	1 771 978	826 105	207 716	10.6	67.8	19.8	187.3
横浜市	3 688 773	486 262	2 440 385	736 216	325 403	80 279	13.2	66.2	20.0	151.4
川崎市	1 425 512	185 571	988 540	237 298	104 665	26 156	13.0	69.3	16.6	127.9
相模原市	717 544	93 750	481 281	138 094	53 879	13 185	13.1	67.1	19.2	147.3
新潟市	811 901	103 346	516 311	187 371	94 486	26 686	12.7	63.6	23.1	181.3
静岡市	716 197	91 673	444 745	176 033	83 278	22 215	12.8	62.1	24.6	192.0
浜松市	800 866	112 093	499 213	181 347	89 166	24 799	14.0	62.3	22.6	161.8
名古屋市	2 263 894	289 642	1 463 977	471 879	215 160	52 504	12.8	64.7	20.8	162.9
京都市	1 474 015	171 090	935 200	330 047	156 309	42 380	11.6	63.4	22.4	192.9
大阪市	2 665 314	308 093	1 734 432	598 835	270 993	65 248	11.6	65.1	22.5	194.4
堺市	841 966	117 750	531 324	189 318	78 602	19 267	14.0	63.1	22.5	160.8
神戸市	1 544 200	194 963	980 959	354 218	165 736	41 194	12.6	63.5	22.9	181.7
岡山市	709 584	100 175	450 108	151 140	74 574	20 445	14.1	63.4	21.3	150.9
広島市	1 173 843	167 793	755 983	231 145	105 115	29 604	14.3	64.4	19.7	137.8
北九州市	976 846	126 391	599 183	244 860	119 738	31 560	12.9	61.3	25.1	193.7
福岡市	1 463 743	191 824	997 884	254 085	118 304	31 254	13.1	68.2	17.4	132.5

15歳以上性別年齢別未婚率の大都市比較

	総数	男					女						
		24歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	24歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上		
札幌市	30.7	33.6	95.8	71.8	49.0	37.0	13.3	28.2	94.2	65.9	41.8	30.0	10.6
仙台市	29.1	31.3	89.5	59.7	38.9	29.5	11.3	27.1	90.8	57.7	34.7	23.6	8.4
さいたま市	28.7	33.0	95.4	71.0	45.8	34.4	13.4	24.4	94.1	60.6	32.5	22.1	7.1
千葉市	27.4	31.3	95.8	71.2	46.6	34.9	12.9	23.6	94.5	60.6	34.3	22.9	7.3
特別区部	33.6	36.8	91.3	69.6	49.4	38.7	18.9	30.5	90.8	64.1	41.4	30.6	13.9
横浜市	29.9	34.9	96.4	74.0	48.7	36.7	15.9	25.0	95.0	62.8	34.6	22.7	8.3
川崎市	32.0	36.7	93.0	69.4	44.6	34.8	17.5	27.0	92.6	60.0	31.8	22.3	9.2
相模原市	30.1	34.7	95.0	70.9	49.3	39.1	14.0	25.5	93.4	60.7	35.1	23.5	6.6
新潟市	27.0	30.9	96.6	69.6	44.8	33.3	12.1	23.4	95.0	60.5	34.9	23.4	7.1
静岡市	26.4	30.8	96.2	71.2	46.6	36.1	13.6	22.2	94.3	59.9	34.6	23.5	7.4
浜松市	25.4	30.5	95.4	68.3	43.8	33.3	13.0	20.5	92.5	53.2	28.1	18.8	6.0
名古屋市	29.4	33.6	94.9	70.2	46.0	34.8	14.6	25.5	93.3	59.7	34.1	22.9	8.8
京都市	32.4	35.7	96.0	74.6	50.0	37.5	14.2	29.5	95.0	67.7	42.2	29.2	10.9
大阪市	31.7	35.2	91.7	65.9	46.1	37.0	18.9	28.5	89.7	60.9	39.7	29.8	12.4
堺市	26.2	29.7	94.8	67.2	43.0	32.2	11.7	22.9	92.5	58.1	33.7	23.1	7.7
神戸市	28.2	30.9	94.8	70.1	44.6	32.6	12.6	25.8	94.1	63.8	37.8	25.8	9.4
岡山市	27.8	31.6	96.1	68.1	43.2	31.9	11.1	24.4	93.6	58.5	33.0	22.1	7.0
広島市	27.1	30.1	95.4	65.9	41.8	30.6	11.2	24.3	93.3	57.9	33.8	22.6	7.5
北九州市	26.4	30.0	94.2	66.2	42.9	32.7	12.4	23.2	92.5	58.1	35.2	24.2	8.9
福岡市	33.2	35.0	93.2	69.1	44.8	33.5	13.3	31.6	92.8	66.3	42.3	29.8	11.9